

記事活用実践例を報告

早島で
県推進協
大学部会セミナー



新聞を活用した教育の実践例が報告された大学部会セミナー



教育に新聞を

県NIE推進協議会（会長・加賀勝岡山大学副学長）の大学部会セミナーが13日、山陽新聞社の印刷工場さん太しんぶん館（早島町早島）で開かれた。県内の大学・短大教員が、新聞を教材にした実践例を報告した。

「ラーニングサポートセンター」のイベントとして、新聞を通して社会に関心を向けるワークショップ「新聞カフェ」を企画した経緯を紹介。「参加した学生は、新聞を読んで記事について語り合うことに楽しさを見いだしたよう。今後も取り組みを続け、基礎教育の充実につなげていきたい」と話した。

中国短大の松井圭三教授は、新聞記事を教材に児童家庭福祉の在り方を学ぶワークショップの活用成果を発表。福祉関連の新聞記事に関する設問とともに、学生自身の感想を記入する欄を設けたことで「学生の『考える力』と『書く力』を向上させるのに一定の効果があった」と述べた。

セミナーには、高校、大学の教員ら約20人が参加した。

（大石哲也）